



あつぎ 元気Wave

CATV 3/1～放送

「岸邸の雛まつり」を映像で紹介(詳細は6面)



桃の節句に
 思いを寄せて

かつて寄贈者が家族で囲んだひな人形を、岸邸の1階と2階に展示

古民家岸邸の雛まつり

日時 3月15日までの10時～15時
休館日 月・火曜
会場 市指定有形文化財
 古民家岸邸
 (上荻野792-2)



《バス》本厚木駅北口1番乗り場から「半原」または「上荻野車庫」行きに乗り「久保」下車、徒歩5分

国郷土資料館 ☎225-2515

岸邸では、五月人形や七夕飾りの展示、お月見など、四季折々の催しを実施しています。3月3日は桃の節句。まな娘の健やかな成長への願いが詰まったひな人形と共に、春の訪れを感じてみませんか。

寄贈した永井恵子さん(70・下荻野)は「長い年月を一緒に過ごしてきたので、お嫁に出したような気分。素敵な古民家に飾られ、たくさんの人に見てもらえれば、おひな様も喜んでくれると思う」とほほ笑みます。棚板の骨組みは、夫の英夫さん(73)が娘の初節句に合わせて手作りしました。展示の傍らには、こうしたひな人形にまつわる思い出も添えられています。

2月18日から、「古民家岸邸の雛まつり」が開催されています。ひな飾りは、荻野地区を中心に23人の方から市に寄贈されたもの。時が移り変わっても各家庭で大切に保管されていた、明治から昭和までの7段飾りや内裏ひな、羽子板などが岸邸を彩ります。寄贈者と20人のボランティアの手で、丁寧に飾り付けられました。

明治時代の面影を残す古民家に、たくさんのおひな人形が並んでいます。優しいほほ笑み、愛嬌たっぷりの顔立ち、高貴な姿…。さまざまな表情を見せるおひな様が、訪れた人を温かく迎えます。

目次

2面 市長に小林氏が3選

2月15日に実施された厚木市長選挙の開票結果や、各投票所の投票率などをお知らせします。

3面 市民満足度調査の結果

市の総合計画「あつぎ元気プラン」の検証を目的に実施している調査の結果をお知らせします。

4・5面 被災地と向き合う人々

東日本大震災から間もなく4年。被災地と向き合い、活動を続ける人々を紹介しします。

6・7面 タウンガイド

催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。

こちらから



竹内選挙管理委員長から当選証書を受け取る小林氏

厚木市長選挙

市長に小林氏が3選

2月15日に実施された厚木市長選挙で、小林常良氏（65）が3選を果たしました。まちづくりの方向性を示した総合計画「あつぎ元気プラン」を基に、ことし4月からは具体的な施策を定めた「第2期基本計画」がスタートします。

トピック

選挙

任期満了に伴い2月8日に告示された市長選挙には、無所属で現職の小林常良氏（65）と無所属で新人の石射正英氏（61）の2人が立候補しました。1週間の選挙戦を経て迎えた2月15日、市内43カ所に設けられた投票所で投票が行われました。投票終了後は速やかに荻野運動公園で開票を実施。4万1票を獲得した小林氏が、3期目の当選を果たしました。

公約の実現を

当選の翌日、市役所本庁舎で当選証書の付与式が行われました。竹内正徳選挙管理委員長（71）は「市民の信託に応えられるよう、公約に掲げた六つのビジョンの実現に向けて、積極的な市政運営に努めてほしい」と激励し、当選証書を手渡しました。証書を受け取った小林氏は「市民の皆さんに軸足をしっかりと置き、市民協働と現地対話主義を信念に取り組んでいきたい」と力強くあいさつ。続けて「市民の命を守る安心安全なまちづくりを第一に考えたい」と決意を述べました。

投票率は42・60%

市長選挙の投票率は、42・60%。前回（平成23年）の40・44%を2・16ポイント上回りました。開票結果や各投票所の投票者数・投票率は左表の通りです。選挙管理委員会 ☎25-2490

厚木市長選挙の開票結果

当選 小林常良氏（無・現）
4万0001票
石射正英氏（無・新）
3万5801票

投票総数 7万6515票
有効投票数 7万5802票
無効投票数 713票

厚木市長選挙投票者数・投票率				
投票区	投票所	当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
1	厚木北公民館	5468	2401	43.91
2	あつぎ市民交流プラザ	4041	1713	42.39
3	厚木第二小学校	5476	2105	38.44
4	依知南公民館	4451	1791	40.24
5	依知小学校	6194	2287	36.92
6	上依知小学校	5039	2286	45.37
7	下川入第二自治会館	1274	597	46.86
8	睦合北公民館	2417	1041	43.07
9	清水小学校	5901	2357	39.94
10	睦合中学校	6016	2222	36.93
11	荻野小学校	3678	1669	45.38
12	荻野公民館上荻野分館	1651	736	44.58
13	飯山小学校	4365	2358	54.02
14	小鮎公民館	4957	2103	42.42
15	七沢老人憩の家	1541	937	60.80
16	愛名老人憩の家	3533	1423	40.28
17	緑ヶ丘公民館	3737	1659	44.39
18	南毛利中学校	5160	2211	42.85
19	南毛利小学校	6045	2904	48.04
20	愛甲児童館	4592	1904	41.46
21	相川公民館	2455	958	39.02
22	妻田小学校	5615	2201	39.20
23	林中学校	6045	2307	38.16
24	愛甲公民館	4055	1760	43.40
25	岡田児童館	2564	1023	39.90
26	小野児童館	1455	812	55.81
27	睦合西公民館	2591	1152	44.46
28	鳶尾小学校	3900	1741	44.64
29	毛利台児童館	3348	1940	57.95
30	南毛利公民館	5777	2471	42.77
31	厚木南公民館	3521	1458	41.41
32	北小学校	5926	2251	37.99
33	森の里公民館	5771	2976	51.57
34	厚木中学校	5949	2202	37.01
35	戸室小学校	6453	2495	38.66
36	睦合南公民館	4315	1857	43.04
37	相川中学校	4074	1480	36.33
38	厚木南老人憩の家	3668	1678	45.75
39	古松台児童館	2578	1129	43.79
40	金田自治会館	2783	1256	45.13
41	三田小学校	3696	1433	38.77
42	荻野中学校	5823	2462	42.28
43	妻田児童館	1718	769	44.76
計		17万9616	7万6515	42.60



3期目スタートに当たって
市民が誇れる
光り輝く県央の雄都へ

厚木市長 小林常良

多くの市民の皆さまからご支援をいただき、市長として3期目の市政運営を担わせていただくことになりました。私は8年前の就任以来、「みんなであつぎ元気プラン」をスローガンに掲げ、「市民協働」「現地対話主義」の信念を貫いてまいりました。市民の皆さまとの協働でまちづくりを進めてきた結果、昨年2月には全国812市区を対象とした「経営革新度調査」（日本経済新聞社）で、日本の評価をいただくことができました。そして、アミューあつぎの整備、半世紀ぶりの産業系事業となる森の里東地区土地区画整理事業のスタート、新市立病院の第1期工事完成やオープンなど、厚木市をより魅力的にしていこうための礎を築いてまいりました。平成27年度からは、総合計画「あつぎ元気プラン」の第2期基本計画がスタートします。中心市街地では、バスセンターなどがある中町1丁目周辺地域の開発や、本厚木駅南口の再開発が本格的に始まります。さらに郊外では、高速道路網を生かしたまちづくりをますます加速させてまいります。厚木市は先月1日、市制施行から60周年を迎えました。先人の皆さまが築いてきたこの素晴らしい厚木市をさらに発展させ、誰もが誇りを持てる県央の雄都として光り輝かせられるよう前進してまいります。

トピック 市民満足度

「市民協働による行政運営」の満足度が向上 市民満足度調査の結果まとまる

市民満足度調査は、市の総合計画「あつぎ元気プラン」の検証を目的に毎年度実施しています。今回の調査では、総合満足度が「満足」「やや満足」を合計して73%という結果が得られました。市では調査結果を生かし、より良いまちづくりを進めていきます。

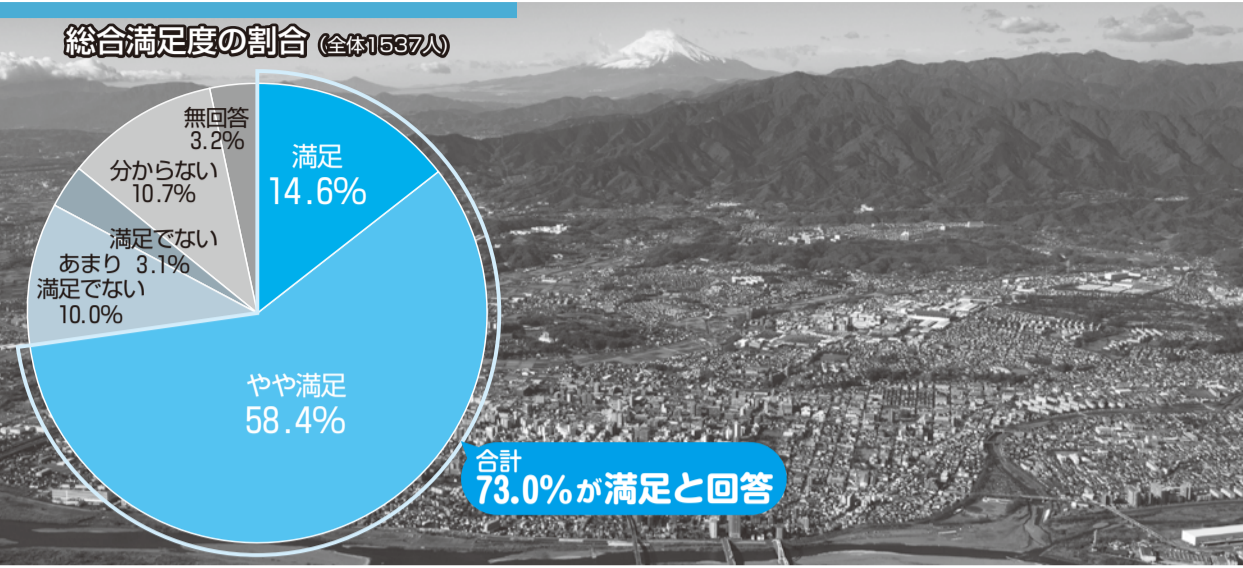
調査は、市内在住の18歳以上の方3500人を対象に実施し、1537人の方から回答を頂きました。調査内容には7分野37項目を設定し、項目ごとの満足度、重要度を調査（左欄参照）。全般的な市の満足度を計る総合満足度も調べました。

8割以上の項目で目標を達成

調査で得られた満足度の平均値は54.5%。8割以上の項目で目標値を達成しました。特に満足度が高かった項目は「資源とごみの分別の取組」（81.1%）、「予防医療の観点からの健康づくり」（72.2%）、「観光の振興」（70.3%）です。重要度では「資源とごみの分別の取組」（90.3%）、「消

より住みよいまちを目指して

住みよいまちをつくるためには、市民のニーズに合わせた計画的な施策展開が必要です。市では、調査結果を基に施策の内容を検証し、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを進めていきます。



調査の概要

- 調査期間 平成26年7月16日～31日
 調査分野 【7分野37項目】
 ①福祉、医療、保健（5問）
 ②市民生活、治安・災害対策（7問）
 ③教育、生涯学習、文化、スポーツ（6問）
 ④環境、河川（6問）
 ⑤都市、道路、交通（4問）
 ⑥産業、労働（4問） ⑦行政経営（5問）
 回収率 43.91% (3500人中1537人が回答)

※市役所1階市政情報コーナーや図書館、公民館、市ホームページなどで公開。

調査結果から見た優先的に取り組むべき項目

市では、さらなる満足度の向上に向け、重要度が高く満足度が他と比べて低い項目の改善に取り組んでいきます。

- 高齢者の生活環境づくり
- 障がい者の生活環境づくり
- 健康で安心・安全に暮らせるまちづくり
- 学校教育の充実
- 中心市街地の活性化
- 快適な生活環境の整備
- 交通環境の整備
- 就労・雇用環境の改善



3月は、自治会加入促進月間

～みんなで協力して、より良い地域に～

参加しよう 自治会活動

市内には219の自治会があり、防犯や環境美化、防災などの活動に当たっています。自治会活動に加わり、みんなの手でより良い地域にしていきたいと思います。

見守り



登下校を見守る「愛の目運動」や交通安全を呼び掛ける啓発活動などを実施しています

交流



運動会や盆踊りなどのイベントを地域の団体と連携して実施し、住民同士の絆を深めています

防災



自治会ごとに自主防災隊を組織し、いつ起きてもおかしくない災害に備えています

環境美化

道路、公園の清掃や、ごみ集積所の管理などを担っています。

防犯

定期的にパトロールなどを実施し、犯罪のない安心して暮らせる地域をつくっています。

福祉

ミニデイサービスや子育てサロンの開催に協力するなど、地域福祉の向上に努めています。

広報

「広報あつぎ」の配布や回覧などを通して、地域の情報を皆さんの元へと届けています。





支援とともに交流を。

厚木商工会議所 依知北ブロック会議

一つの企業が始めた被災地の支援が形を変え、地域に広がりを見せている。支援の在り方を模索し、たどりついたのは祭りの開催だった。被災地の人々との交流を深めようと準備に奮闘している人たちにその思いを聞いた。



①支援を続ける蔵原さん(左)とカキ養殖業の皆さん
②昨年視察した南三陸町防災対策庁舎(共に蔵原さん提供)



雄勝町 復興支援交流まつり



雄勝町の海産物の販売、震災写真のパネル展示など盛りだくさんの内容で開催します。ことしは、雄勝町の「伊達の黒船太鼓保存会」が復興へ向けた太鼓を披露します。楽しみながら、支援につながるイベントです。

- 《日時》4月12日(日) 9時30分~15時
 - 《会場》藤塚みどり公園(上依知3000-1)
 - 《内容》●雄勝町海産物の特別販売
 - 雄勝町伊達の黒船太鼓の演奏
 - 震災写真のパネル展示
 - キッズダンスショー
 - マジックショー など
- 厚木商工会議所 ☎221-2153

「お互いの住民が交流できる場になりたい」「黒船太鼓を招待し祭りの目玉にしよう」。4月に宮城県石巻市雄勝町の住民を招いて開催される「復興支援交流まつり」(左下欄参照)に向け、内陸工業団地の会議室では活発に意見が交わされていた。主催するのは、企業の経営者などによる交流組織「厚木商工会議所依知北ブロック会議」のメンバーたち。きっかけは、メンバーの一人で段ボール製造会社を営む蔵原博幸さん(66)が続けていた支援だった。

支援の限界の先に

雄勝町は、蔵原さんの祖父の故郷だった。震災直後、蔵原さんはいち早く支援を決め、トイレレットペーパーなどの生活必需品や段ボールなどを送り届けた。がれきの撤去や側溝の掃除に当たるボランティアには、社費を投じて社員らを派遣。さらに、主産業であるカキ養殖の再建を支えた。だが、蔵原さんは一企業や一個人の支援に限界も感じていた。「病院や学校も失い、町に残っている人たちも一部だけ。そんな厳しい境遇の方たちを簡単には支え

られない。でも何もしなければ関係は途切れてしまう…」もどかしさを抱えていた蔵原さんは、依知北ブロック会議の席上で雄勝町の窮状を訴えた。メンバーは何ができるかを話し合い、雄勝町特産のカキやホタテなどを販売する祭りを企画。支援と交流につなげようと、おとしの4月に開催した。会場となった上依知の藤塚みどり公園には、1000人以上が訪れ、招かれた養殖業者から「こんなに売れたのは初めて」と言われるほどの盛況振りだった。

心の交流を大切に

「支援を無理なく続けていくには、祭りという形が良かった。上依知だけでなく雄勝町の皆さんからも継続を望む声があり、2回目の開催を決めた。その話すのは、金属のリサイクル会社を経営し、祭りの実行委員長を務める服部明さん(51)。服部さんは昨年5月、ブロック会議のメンバーや地域の住民らと共に被災地を視察した。「復興へはまだ道半ば。被災地とどのように向き合っていくかあらためて考えると、こ



祭りの実行委員長を務める服部さん

被災地へ架け橋をつなぐ

服部さんは自治会や子ども会、他地区のブロックにも協力を呼び掛け、地域全体で交流できる環境を整えた。「蔵原さんが始めた支援が地域に広がり、地元の人たちも祭りを楽しみにしている。震災の記憶を風化させないこと、支援と交流を続けたい」と意気込む。蔵原さんは「祭りを通じて生まれた触れ合いは、きっと未来につながる。そのきっかけづくりができたと思う」とい

「とほほ笑む。支援のともじびを絶やさず、活動が続ける人たち。その光は、地域と被災地をつなぐ架け橋となっている。厚木商工会議所 ☎221-2153

東日本大震災義援金 厚木福祉総務課 ☎225-2200

被災地を支援するため、日本赤十字社では義援金を受け付けています。市役所本庁舎や福祉総務課などにある募金箱が振り込みをご利用ください。

- 《振込先》横浜銀行 県庁支店(普通) 0769608
郵便局 00290-8-20001
- 《受取人》日本赤十字社神奈川県支部 支部長 黒岩祐治
- 《手数料》銀行=窓口で専用振込用紙を使用した場合は無料
郵便局=窓口で取り扱いの場合は無料
- 《その他》通信欄に「東日本大震災義援金」とお書きください

特集 被災地と向き合う人々

東日本大震災から4年

平成23年3月に発生した東日本大震災から間もなく4年が過ぎようとしている。被災地は復興に向けて少しずつ歩みを進めている。震災の報道を見掛けることが少なくなる中、震災の記憶を風化させず被災地と向き合い活動を続けている人たちがいる。



僕らが、写真でできること。

東京工芸大学3年 武川 健太さん

昨年3月、飯山にある東京工芸大学のキャンパスで、東日本大震災の様子を伝える小さな写真展が開催された。今もボランティアを続けながら被災地に赴き、写真を撮り続ける学生の思いに迫った。

線路の中で伸び切った雑草、供物がささげられた荒地の地蔵、打ち上げられた大型貨物船と歪んだ線路。「僕らが、写真でできること。」と題した写真展には、一人の大学生が写した被災地の写真約20枚が並んだ。

真実を記録する写真

東日本大震災が発生したのは、武川さんが高校二年生の時だった。「先輩たちを送る卒業式の最中、突然大きな揺れに襲われ体育館中がパニックになった。武川さんは自宅に帰れず、近くの小学校の体育館で一泊を過ごした。武川さんが被災地の写真を撮る初めて撮ったのは、震災から3週間後にボランティアとして石巻市雄勝町に入った時だった。中学生のころから鉄道写真が趣味だった武川さんは、愛用の一眼レフカメラを手に雄勝町に向かった。現地に着いた時、目の前に広がる光景に武川さんは言葉を失った。「悲惨な状



生えるはずのない線路内にも雑草が(武川さん提供)



写真展を開催した武川さん

況が脳裏に焼き付くのが怖くてファイターをのぞけなかった。その時に撮影できたのは、わずか5枚ほどだった。大学に進んでからも武川さんは、ボランティア活動や帰省など、機会を見つけては被災地に足を運んだ。次第に現地の人たちとも言葉を交わすようになった。いつか武川さん。被災地で暮らす人たちは、復興に向かっていく姿を見てほしいと求めていることや、多くの人とのつながりを求めていることを知った。交流が深まるにつれ、撮影する写真の枚数も増えていった。「写真の本質は真実を記録すること。自分の写真を通じて、震災の記憶を多くの人と共有したい。武川さんはそう考えるようになった。」



被災地で撮影に臨む(武川さん提供)

本当の意味での復興

現在、大学生活の傍ら、プロカメラマンのアシスタントも務めている武川さん。卒業しても被災地の撮影はライ

「写真展を開いてみたら」。武川さんの背中を押してくれたのは、仲良くしていた大学の図書館の職員だった。写真展では、震災直後から再建が進みつつある街並みまで、3年にわたる被災地の姿を展示した。写真展は、好評を博し、学生や市民だけでなく県外からもたくさんの方が訪れ、厚木に続いて都内のキャンパスでも開催された。「復興に向かう現地の姿が見られてよかった」「震災を風化させないために、撮り続けてほしい。来場者から寄せられた声は、撮影を続ける武川さんの励みになった。「あの写真展をきっかけに、一人でも多くの方が被災地に足を運んでくれていたらうれしい」と武川さんは笑顔で振り返る。



供物がささげられた地蔵(武川さん提供)

武川健太さん写真展

「僕らが、写真でできること。」

- 《開催日》3月4日~9日
 - 《会場》あつぎ市民交流プラザ6階
- 武川さんが撮影し続けている被災地の写真を展示します。
厚木福祉総務課 ☎225-2040



フワックとして続けることを決めている。今後は町の姿だけでなく、たくましく復興に向かう人々にもレンズを向けていきたいと考えている。カメラを通じ、被災地や被災者に寄り添い続ける武川さん。「現地の人が心から元気になることが、本当の意味での復興だと思う」。レンズの先に被災地の復興を見据え、武川さんはシャッターを切り続ける。

東京工芸大学 ☎221-9600

と移動子育てサロンの運営・訪問業務・育児相談など《雇用期間》4月1日～9月30日(更新あり)《勤務日時》①週5日(土・日曜含む)＝8時30分～17時15分②週3日(土・日曜含む)＝9時30分～16時30分《給与》①月額16万9300円②時給1010円(土・日曜は1364円)市販の履歴書に写真を貼り、3月11日までに直接、子育て支援センター☎225-2922へ。3月17日に面接を予定。

新あつぎ市民健康体操の普及員を募集

地域で「新あつぎ市民健康体操」(あゆココちゃん体操)を広めるボランティアを募集します。

《対象》市内在住で応募日現在18歳以上の方20人《活動時間》1回2時間程度(月数回)《任期》4月1日～平成28年3月31日(予定)保健センターや公民館にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、3月2日～27日に直接、健康づくり課☎225-2201へ。書類選考あり。

軽自動車税の廃車・変更届はお早めに

軽自動車税は、4月1日に原動機付自転車、軽自動車などを所有する場合に課税されます。譲渡や盗難などで所有していない方は、3月中に手続きをしてください。

《手続き場所》原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊自動車＝市民税課☎225-2012、三輪・四輪の軽自動車(660cc以下)＝軽自動車検査協会相模支所☎050-3816-3120、二輪の軽自動車(126～250cc)＝軽自動車協会相模支所☎285-1888、二輪の小型自動車(251cc以上)＝相模自動車検査登録事務所☎050-5540-2037。市民税課☎225-2012。

電子申請システムがリニューアル

電子申請システムが4月1日に新しくなります。スマートフォンにも対応し、申請・届出・申し込みが簡単にできます《コールセンター》☎0120-22-0642(平日9時～17時)

《注意事項》現在のIDは新システムでは利用できませんので、あらかじめ登録をお願いします。システムの切り替え作業のため、3月31日0時～4月1日9時は利用できません。情報政策課☎225-2459。

国民年金保険料の学生納付特例

学生で前年所得が基準以下であれば保険料の支払いが猶予されます。申請は年度ごとに必要で、平成27年度は4月1日から受け付けます。新年度の学生証または在学証明書、年金手帳、印鑑(代理申請の場合)、前年所得が分かるもの(昨年に所得があり、27年1月2日以降に市内に転入した方のみ)を持ち、直接、国保年金課☎225-2121へ。

都市計画決定(変更)案の説明会

3月18日、19時～。市役所本庁舎。本厚木駅南口地区市街地再開発事業に伴う第一種市街地再開発事業・高度利用地区・都市計画道路・地区計画の都市計画決定(変更)案の説明会。当日直接会場へ。都市計画課☎225-2401。

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》

■(仮称) 収蔵資料館建設に関する基本方針(案)

《閲覧期間》3月1日～30日《閲覧場所》郷土資料館、市政情報コーナー、公民館、本厚木駅・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市ホームページ《応募資格》市内在住に勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-0003寿町3-15-26郷土資料館☎225-2515・FAX225-1070・e-mail=8650-3@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

あつぎ健康相談ダイヤル24

健康相談・医療機関情報(救急含む) さわやか1番 よいところ ☎0120-31-4156 ◎発信番号は通知設定でおかけください

あつぎ 元気Wave 3月の広報番組ガイド

ケーブルテレビ あゆチャンネル(11ch) 放送時間(15分) 3月1日～15日 ◆小林市長の3期目がスタート 3選を果たした小林市長の初登庁の様子や抱負を紹介

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

市役所窓口を土・日曜に臨時開設します

市では、毎週土曜の午前、市民課と国保年金課の窓口を開設しています。転入・転出が集中する3月下旬～4月上旬は日曜も開設し、通常よりも窓口を増やして対応します。



《日時》3月21・22・28・29日、4月4・5日 8時30分～12時
《場所》市役所本庁舎1・2階

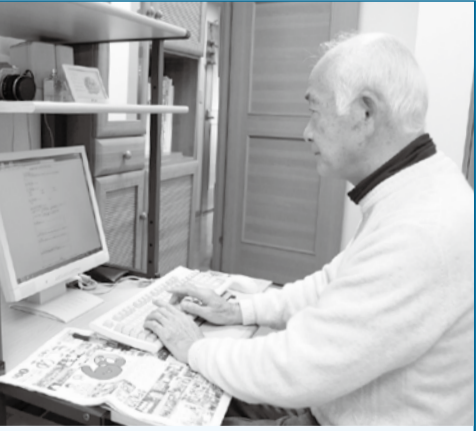
- 市民課(1階) ☎225-2110 住民異動届(転出・転入・転居など)、印鑑登録、住民票の写しなど証明書の発行、住基カードの発行、戸籍に関する届け出、所得証明書の交付
- 学校教育課(1階市民課窓口) ☎225-2650 小・中学校の転入手続き(3月21・22日を除く)
- 国保年金課(1階) ☎225-2120 国民健康保険の被保険者証の発行、国民健康保険料納付書の発行、国民健康保険の給付申請、国民年金第1号被保険者の資格取得手続き、年金受給者の住所変更指定ハガキの配布など
- 介護保険課(2階) ☎225-2393 介護保険の資格手続き、介護保険料の相談・納付、要介護認定申請(3月21日を除く)
- 子ども家庭課(2階) ☎225-2233 児童手当、児童扶養手当、子育て日常生活支援事業、母子家庭等支援事業、子ども医療証、ひとり親医療証の手続き(3月21日を除く)

《注意事項》
※本庁舎出入口は、正面玄関と西側(駐車場側)の2カ所です。
※車でお越しの方は、本庁舎西側駐車場または厚木中央公園地下駐車場をご利用ください。
※一部取り扱いできない手続きがありますので、事前に開設窓口にお問い合わせください。
※住民票の写し、戸籍謄・抄本、税証明(土・日曜は要予約)などの証明書は、地区市民センター(公民館)や連絡所でも交付できます。ただし、厚木北・厚木南・愛甲地区市民センター、上荻野連絡所、総合福祉センターは平日のみ受け付けます。3月21日は、証明書などの発行ができません。

詳しくは 厚木市 年度末及び年度初めの開庁 検索
行政経営課☎225-2280

平成27年度上半期 インターネットモニターを募集

インターネットを通じて、「広報あつぎ」や市の施策・サービスなどについて意見を寄せていただくモニターを募集します。頂いた意見は、市の今後の事業などに生かしていきます。



《対象》市内在住に勤在学の18歳以上で、電子メールを送受信できる方
《期間》4月～9月(毎月2回) 《謝礼》図書カード(500円相当)を進呈

☑Eメールに住所、氏名、生年月日、電話、メールアドレスを書き、3月15日までに広報課email=0200@city.atsugi.kanagawa.jpへ。公募340009

☎広報課☎225-2043

3月16日スタート 本庁舎1階窓口の混雑状況を市ホームページで確認できます

◆家にいても窓口の混雑状況を確認 市ホームページから市民課と国保年金課の窓口混雑状況を確認できるようになります。3月～4月は特に窓口が混雑します。パソコンや携帯電話・スマートフォンで事前に状況を確認し、待ち時間が少ない時間帯を選んでお越しください。



◆順番が近づくとメールでお知らせ 市民課と国保年金課では、窓口で発券した呼出番号レシートにQRコードを印字しています。携帯電話やスマートフォンから読み取ると、現在の待ち時間の目安などを確認できます。メールアドレスを登録しておけば、順番が近づくとお知らせメールが届きます。待ち時間に外で別の用事を済ませることもできますので、ぜひご利用ください。



☎市民課☎225-2110・国保年金課☎225-2122

タウンガイド

3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4			
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

マイタウンクラブ
印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「〇〇」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。
www.mytownclub.com
[携帯電話は末尾に/cpを]

市制60周年記念事業

あつぎの遺跡展 「古代の厚木を探る」

《展示》3月7日～22日、9時～17時。郷土資料館。鳶尾遺跡など奈良・平安時代の市内遺跡の発掘調査成果を展示。無料《講演会》3月21日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。専門家による古代をテーマにした講演会。定員100人。無料。当日直接会場へ。先着順。文化財保護課 ☎225-2509。

市民ふれあいマーケット

3月8日、10時～14時(雨天の場合は15日)。厚木中央公園。日用雑貨や衣料品などの不用品を130店舗が販売。環境政策課 ☎225-2749。

3月の青春劇場スケジュール

7日=唄う！青春劇場カラオケ大会(ゲスト・井上まりこ)。15時～16時。アミューあつぎ9階。入場料500円。14日=ほんわかオカリナコンサート。13時～16時。あつぎ市民交流プラザ。無料。28日=あつぎ青春劇場落語会(出演・

初音家左吉)。11時～12時30分。アミューあつぎ9階。入場料500円。いずれも定員は100人。当日直接会場へ。商業にぎわい課 ☎225-2840。

八菅神社火渡り神事と 八菅山、鳶尾山ハイキング

3月28日、9時30分～15時(雨天中止)。上荻野バス停前集合。上荻野バス停～八菅山～八菅神社～鳶尾山～鳶尾団地バス停(解散)の約7kmを歩く。弁当、飲み物をお持ちください。定員50人。500円(資料・保険代)。3月1日から東丹沢七沢観光案内所 ☎248-1102へ。先着順。

ミツマタを鑑賞し、七沢で春の訪れを感じよう

3月28日、9時30分～15時。広沢寺温泉駐車場(七沢2656-1)集合。二の足林道を歩きミツマタを鑑賞する森林セラピー体験。定員10人。500円(保険料など)。弁当、飲み物、トレッキングシューズをお持ちください。3月1日から東丹沢七沢観光

案内所 ☎248-1102へ。先着順。141716

第37回児童館合唱団発表会

3月14日、14時～16時。文化会館。児童館合唱団によるミュージカル。定員370人。無料。当日直接会場へ。先着順。青少年課 ☎225-2581。141720

春季ネイチャーゲーム

3月21日、10時～12時。ぼうさいの丘公園(温水783-1)。五感を使って自然を感じ取る体験ゲーム。市内在住の小中学生と保護者30人(小学生は保護者同伴)。無料。直接またはハガキ、ファクスに講座名、〒住所、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名、学年を書き、3月15日(必着)までに〒243-0018 中町1-1-3 青少年課 ☎225-2580・FAX 224-9666へ。抽選。141713

スポーツなじみDAY

3月21日、10時～15時30分。荻野運動公園(中荻野1500)。気軽に楽しめるニュースポーツを紹介《種目》屋内=バウンスポール、キンボール、ドッチビー、カーレット、ビーチボール、体力チェックコーナーなど。室内履きをお持ちください。屋外=ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフなど(雨天時は屋内種目のみ)。無料。スポーツ政策課 ☎225-2531。

ターゲット・バードゴルフ 「女子会 in オール厚木大会」

3月14日(雨天の場合は15日)、9時～13時。ゲーム感覚の団体戦。厚木青少年広場(厚木2348)。市内在住で経験のある女性30人。賞品、参加賞あり。弁当をお持ちください。無料。当日直接会場へ。ターゲット・バードゴルフ協会・西野 ☎248-1799。

きてみてガッテン！ ついついやせちゃう7つの裏ワザ

3月13日、13時30分～15時30分。アミューあつぎ9階。テレビ番組「ためしてガッテン」の元専任ディレクターが痩せる方法楽しく伝授。市内在住の方100人。無料。

3月4日～10日に健康づくり課 ☎225-2201へ。先着順。

斎場施設見学会

3月16日、①10時30分～②13時30分。市斎場(下古沢548)。施設見学と葬儀の説明。各回定員50人。無料。3月1日～15日に斎場 ☎281-8595へ。先着順。

Shall we walk? ～プロに教わるウォーキングのコツ～

3月17日、13時～16時。あつぎ市民交流プラザ。日本ウォーキング協会の講師が正しい歩き方を講義。市内在住の方40人。無料。3月4日から健康づくり課 ☎225-2201へ。先着順。141717

療育支援事業講演会 「発達障がいってなあに」

3月20日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。発達障がいの概要と対応方法を神奈川県小児科医師が講演。定員40人。無料。3月13日までに福祉総務課 ☎225-2252へ。抽選。

身近な生活に役立てよう～地図で体験するオープンデータ～

3月28日、14時～15時30分。グルメや観光などの地図を作りながらオープンデータを学ぶ。Googleアカウントを持ち、パソコン操作に慣れた方16人。3月17日までに情報プラザ ☎220-2711へ。抽選。141741

春休みだよ！キッズパソコン教室「iPhoneアプリ作成体験」

①3月29日、10時～11時30分②3月29日、14時～15時30分。iPhoneやiPad用のアプリを作る。アプリはiOS端末に入れて持ち帰れます。市内在住の小学4～6年生16人。無料。3月17日までに情報プラザ ☎220-2711へ。抽選。141707②141740

子育て支援センターの保育士(臨時職員)を募集

《対象》保育士資格を有する方若干名《内容》子育て支援センター

二足歩行ロボット競技会

ロボットの最先端技術が詰まった2足歩行ロボットの競技です。迫力ある戦いを間近で見ませんか。

《日時》3月14・15日
10時30分～17時

《場所》あつぎ市民交流プラザ「ルーム601～603」

《内容》2足歩行ロボットがリング内で戦い、勝敗を決める

《定員》100人

当日直接会場へ。先着順。

産業振興課 ☎225-2831

ロボット競技の様子

電気自動車用急速充電器を設置

公共施設5カ所に、電気自動車用の急速充電器を設置します。電気自動車の普及を促進し「環境・交通先進都市」を目指します。

《設置場所》依知北・依知南・睦合西・相川公民館、文化会館

《利用開始日》4月1日(予定)

《利用時間》公民館=8時30分～22時
文化会館=24時間

《利用料金》日本充電サービスや各自動車メーカーが定める額

【料金例】日本充電サービス=月会費3800円+15円/分。日産自動車=3000円/月(使い放題)。いずれも税抜き。

《支払い方法》日本充電サービスや自動車メーカーが発行するカードで決済(現金での利用はできません)

相川公民館に設置された急速充電器

市役所の無料急速充電器は、有料化への切り替えに伴い、4月1日(予定)から当面の間休止します。

財産管理課 ☎225-2083

産業振興課 ☎225-2830



厚木市制60周年記念事業



人気テレビ番組「開運!なんでも鑑定団」が厚木にやってきます。あなたのとおきの「お宝」を鑑定してもらいませんか。観覧希望者も募集します。

お宝鑑定

無料

①公共施設などにある申込書（市ホームページからダウンロード可。鑑定依頼品1点につき1枚）に必要事項を書き、鑑定品の写真3枚以上（①全体像が分かる②絵柄や文字など主要な部分のアップ③銘や落款）を添えて、4月20日（必着）までに直接または郵送で〒243-8511企画政策課へ。テレビ局担当スタッフによる書類審査あり。

※開催日に出場可能な方に限ります。古物売買免許のある方はご遠慮ください。申込書や写真は返却できません。

観覧

①往復ハガキに〒住所、氏名、電話番号、返信先を書き、5月25日（消印有効）までに〒243-8511企画政策課へ。定員1400人。抽選。結果は6月上旬に郵送します。

日時 6月28日(日) 13時~15時 会場 文化会館 大ホール

問企画政策課 ☎225-2450

あつぎ映像コンテスト2014 受賞作品上映会

「厚木」をロケ地やテーマにした、たくさんの作品が寄せられました。その中から、審査員や市民の皆さんが選んだ優秀作品を上映・表彰します。ぜひご来場ください。

日時 3月15日(日) 10時~12時 無料

場所 アミューあつぎ9階 ホール112

内容 受賞作品の上映と制作者の舞台あいさつ、表彰式
※広報写真コンクールの表彰式も同時開催

定員 100人
①当日直接会場へ。先着順



市制60周年記念事業

問広報課 ☎225-2040

もういらい 火を消すまでは まあだだよ

春の火災予防運動

3月1日~7日

3月1日~7日に、春の火災予防運動を実施します。空気が乾燥するこの季節、火の取り扱いには十分注意しましょう。

※期間中は、消防職員や消防団が、消防車による巡回や事業所への立入検査などを実施します。1日7時には吹鳴試験を実施し、市内全域にサイレンを鳴らしますので、火災とお間違えないようご注意ください。

いち早く火災を発見し、音で知らせる 住宅用火災警報器



住宅火災による死亡者は全国で1000人を超え、その多くは逃げ遅れによるものです。逃げ遅れを防ぐため、家庭の寝室と階段には住宅用火災警報器の設置が義務化されています。お近くのホームセンターや電気店などで購入できますので、設置がお済みでない方は、一日も早く取り付けましょう。

⚠️ 悪質業者に注意

消火器や住宅用火災警報器などを高額で販売する悪質な業者がいます。消防職員が消火器などの販売をしたり、特定の業者に販売を委託したりすることはありませんので、十分に注意してください。



問予防課 ☎223-9371

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。